

令和7年度 経営ヴィジョン

高知県立中村高等学校令和6年度学校経営ヴィジョンと連携・連動しながら、併設型中高一貫教育校として中学校の経営ヴィジョンを「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」「基盤となる体制等」の観点で策定し、より良い学校の構築をめざす。

1 教育方針

旧制中学校以来の「不動不休」の精神を教育の基本とし、中高一貫の6年間の生徒の切磋琢磨をとおして、豊かな心と知性を身につけ、未来を切り拓く人材を育成する。

2 校是

不 動 不 休

ゆるぎなき不動の信念と新しい創造、不断の努力の大切さを表す。

3 本年度の教育重点目標

(1) 重点項目

中村中学校・高等学校の存在価値を高め、地域の期待に応えるため、学力の向上と社会性の育成に、チーム中村として組織的に取り組んでいく。

(2) 目指す学校像

- ①すべての生徒が安全に安心して学び、活動できる学校
- ②すべての生徒が自分の居場所を見つけ、役割を感じられる学校
- ③生徒、保護者、地域、教職員がつながる学校
- ④故郷を愛し、故郷の未来を担う若者が育つ学校
- ⑤教職員がワークライフバランスを実感し、仕事に充実感を得られる学校

(3) 目指す生徒像

- ①学ぶ意欲と挑戦する気持ちを持ち、自分を高められる生徒
- ②自分のこと、地域のこと、自分と地域の将来のことを語れる生徒
- ③故郷や自然、仲間を大切に「つながる」意識を持ち、地域の未来を担う生徒
- ④規範や規律を意識し、基本的な生活習慣が身についた生徒

中高一貫教育校として

併設型中高一貫教育校として、本校は基礎となる生徒の学び方、生き方並びに心身の成長をしっかりと支援し、高等学校へと繋ぐことが求められる。中高の6年間を見据え、中学校と高等学校が連携し一丸となって中村中学校・中村高等学校の生徒を育てることを共通の目標として取り組まなければならない。

< 確かな学力 >

◎授業改善

①生徒指導の3機能を働かせた授業づくり

- ・「自己決定の場」「自己存在感」「共感的人間関係」

②「めあて」「まとめ」「ふり返し」など授業スタンダードの確立

- ・1時間で「何がわかったか」「何ができるようになったか」を実感させる授業

③授業改善プランをとおして取り組みを検証しながら、各教科の指導の充実

- ・常に授業内容を振り返りながら、より良い授業づくりに取り組む姿勢

④ツールの活用

- ・全国学力学習状況調査、高知県学習定着状況調査
- ・学力推移調査、学力テスト、ワークブック、ワークシート等

⑤ICTの効果的な活用

- ・一人一台のタブレット端末等の活用

◎課題探究

①五つの力（情報収集力・課題発見力・連携力・思考と判断・表現と発信）

- ・自ら考え、表現するための自尊感情、自己肯定感の育成

< 健やかな体 >

◎子どもたちの実態把握と体力づくり

①調査結果をもとにした実態把握、体力向上策の推進

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査
- ・高知県体力・運動能力、生活実態等調査

◎基本的生活習慣の確立

①健康アンケートを活用した実態把握

- ・早寝早起き朝ごはんの推進
- ・健康指導

②学校給食を通して日常の食育の推進

- ・スクールミールや栄養教諭等との連携

< 豊かな心 >

◎規範意識や自尊感情など豊かな心を育む取り組みの充実

①道徳教育の充実

- ・「考え、議論する道徳」の授業実践、知識から行動化へ
- ・道徳授業アンケート

◎望ましい「隠れたカリキュラム」の実現

①子どもが安心して過ごせる雰囲気づくりと居場所づくり

- ・「子どもの命を守りきる」という意識

②教職員の人権感覚の向上

- ・「Q-Uアンケート」「学校生活アンケート」「きもちメーター」等を活用しての支援体制の強化と対応力
- ・アンテナを高くし感度を上げ、スピード感を持った対応

③「SOSの出し方に関する教育」の推進

- ・困ったとき、悩みを抱えず「相談していい」「相談できる」という意識づくり

< 基盤となる体制等 >

◎特別支援教育の視点を踏まえた取り組み

①一人ひとりに寄り添った学級、学校づくり

- ・それぞれの子どもの持つ状況、背景、保護者の思いを知る

②子どものニーズに応じた環境づくりと支援

◎望ましい「隠れたカリキュラム」の実現

①人権感覚の向上とカウンセリングマインド

- ・「ボイスシャワー」「アサーション」

◎発達支持的生徒指導の推進

①生徒が「未来を生きぬく力」を身につけるように働きかける「命の教育」等の実施、及び安全・安心な学校環境づくり

②「SOSの出し方に関する教育」

◎地域との関わり

①家庭、地域との連携、協働の推進

- ・家庭との連携の構築とPTA活動の充実

◎部活動の充実

①部活動の精選

②部活動指導員の活用

◎不祥事防止

①不祥事防止対策委員会を中心とした不祥事防止に係る研修の実施

②「自分ごと」として捉える。